

## 平成26年度後期 地域協働授業成果発表会の開催について

文部科学省の平成25年度8月「地（知）の拠点整備事業（※1）」について、本学から申請した事業（『工学心』で地域とつながる『地域協働型大学』の構築（※2））が採択され、地域との対話・協働・交流による教育・研究・社会貢献の取組を進めているところです。

その一環として、様々な授業科目や卒業研究において、学生が地域関係者と直接対話や交流などを行い、地域が抱える課題について考え学ぶ授業をこれまで行ってきました。

このたび、地域の関係者の方にも公開して、学生による授業成果発表会を1月29日（木）及び1月30日（金）に開催することといたしましたので、ご案内します。

- 1 開催日時 第1日目：平成27年1月29日（木）13：00～15：55  
第2日目：平成27年1月30日（金）14：40～16：55

- 2 場 所 富山県立大学 2階 大講義室



### 交通アクセス

- ・ JR 小杉駅南口から徒歩約20分（約2Km）、
- ・ 射水市コミュニティバス「14. 小杉駅・太閤山線」に乗車約5分。
- ・ 小杉 I.C から車で約5分。

- 3 次 第 別添資料のとおり（※3）

※1 文部科学省「地（知）の拠点整備事業」について

「地（知）の拠点整備事業」（大学 COC 事業）は、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的として、今年度新たに創設されたものです。昨年度、全国の各大学等から 319 件の申請があり、52 件が採択されました。

※2 『「工学心」で地域とつながる「地域協働型大学」の構築』について

「富山県の発展を目指した県民の大学」という建学理念のもと、地域の課題に対して全学を挙げて取り組み、地域に役立つ技術者マインド「工学心」を持ち、地域課題を解決できる学生の育成を図るなど、「地域協働型大学」の構築を目指すものです。具体的には、例えば、少人数で行うゼミ形式の授業の中で、学生が多様な地域関係者と直接対話や交流などを行い、地域産業の振興や超高齢化社会への対応など解決が困難な課題について、地域関係者と一緒に考えます。

学生自らがその課題をとらえ、また、その課題の解決のためどう取り組めばよいかを学修することを通じて、主体的に課題解決する能力を持った人材の育成を目指しています。



富山県立大学 平成25年度「地（知）の拠点整備事業」

「工学心」で地域とつながる「地域協働型大学」の構築

地域に役立つ技術者マインド 「工学心」で地域とつながる全学的取り組み



「工学心」

人々の暮らしに役立つ「工学」、新しい高度な技術の創造への熱意

「地域とつながる」

- ・学生が積極的に地域と交流・対話・協働することにより、地域課題を肌で感じ、主体的に課題解決する能力の育成
- ・教員による地域志向の教育及び世界を目指す研究による地域との協働

「工学心」

大学  
(学生・教職員)



地域  
(自治体・地域団体  
住民・企業)

「地域協働型大学」

- ・教育・研究・社会貢献の分野で全学的に地域課題に取り組む
- ・「工学心」を持ち、地域課題の解決に取り組む学生を育成